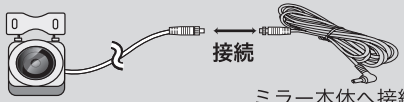
(防水リアカメラ付属)デジタルインナーミラー機能搭載 ドライブレコーダーを
お買い上げのお客様へ ※リアカメラは下記の**防水リアカメラ**が標準品です。

●防水リアカメラ（ブラケット用ネジ２本付属）+ 接続ケーブル (9m)



防水リアカメラ

ミラー本体へ接続

防水リアカメラ接続ケーブル

【防水リアカメラ側】 4 ピン・ネジ式ロックキャップ付きコネクタ（防水仕様）

【ドライブレコーダー側】 L字型コネクタ

防水リアカメラ設置

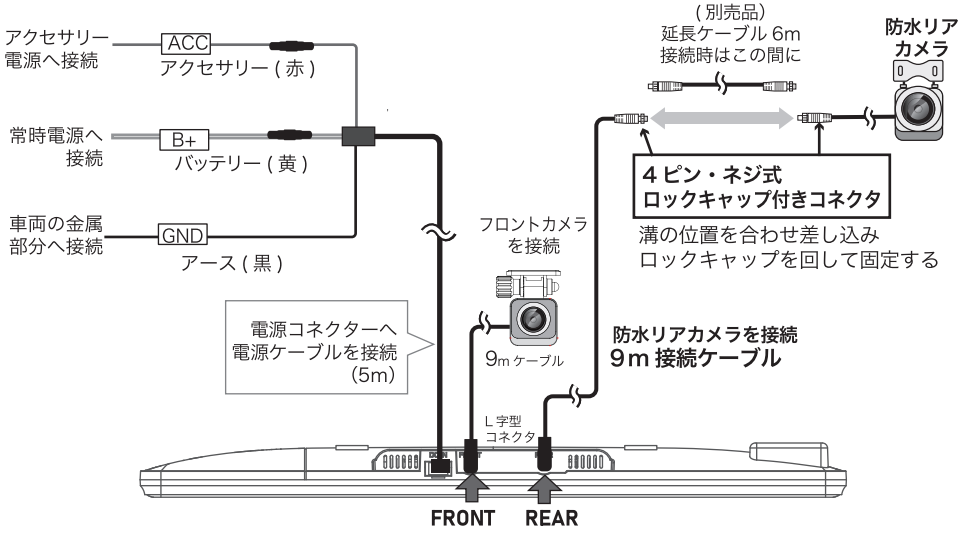
1. リアカメラを取り付けする前に、配線を仮接続し、ブラケットを仮固定し映像を確認してください。
2. 貼り付ける場所の泥、油分、ワックスをパーツクリーナーや中性洗剤できれいに拭き取ります。
   ・必要に応じて、リアカメラのケーブルを通す穴、カメラブラケットの穴の位置決めをして穴開け加工をしてください。
3. ブラケットの固定と配線
   ・付属の両面テープで決定した位置にしっかりと押し付けて貼り付けます。
   ・走行時の脱落を防ぐため、付属のネジ２本を使ってしっかりとネジ留めします。
   ・ケーブルを車内に引き込んでください。この時、カメラのケーブルと接続したコネクター部は、極力ボディーの外には出さないでください。水に濡れると、故障の原因になります。また、ケーブルを折り曲げたり、挟まないでください。

(ネジ式ロックキャップ付きコネクタの結合方法)

1. 溝の位置を合わせコネクタをまっすぐ奥まで差し込む。
   コネクタには上下の向きを合わせるための「位置合わせ用の溝」があります。
2. ロックキャップを回して固定する
   コネクタを奥まで保持した状態で、上部にあるロックキャップを時計回りに回します。指の力でそれ以上回らなくなる（キュッと止まる）まで、しっかりと締め込んでください。

※必ず「コネクタを奥まで差し込んでから」ロックキャップを回してください。
差し込みが不十分なままキャップを回すと、端子が破損し、映像が映らなくなる原因になります。
※工具の使用禁止： ロックキャップは必ず手で締め込んでください。
※振動・防水対策（推奨）
車の走行時の振動によるネジの緩みや雨天時の結露による水の侵入を防ぐため、ネジを締めた上からさらに市販の電気絶縁テープ（ビニールテープなど）を巻き付けて補強することをおすすめします。

【ケーブルの配線方法】



リアカメラ接続端子に接続したカメラのみ
拡大表示ができます。